



全日本社会貢献団体機構(AJOSCC)発行

AJOSCCがわら版

vol.24

平成26年度 社会貢献フォーラム in 奈良

11月30日(日)13時30分より、奈良市のなら100年会館中ホールで社会貢献フォーラム「主役はあなた！明日の街づくり」社会貢献がつくる地域の活力」を奈良新聞社と共催しました。会場には子ども連れも多く参加者は300人を超え、盛況でした。

第一部では「社会貢献にかける」野球を通じた恩返し」と題して、元阪神タイガースの赤星憲広氏とコーディネーターの村松真貴子さんが、赤星氏の社会貢献活動について対談を行いました。



赤星憲広氏(右)とコーディネーターの村松真貴子氏(左)

第2部のパネルディスカッションでは、奈良県遊技業協同組合の相羽宗一郎理事長が、紀伊半島大洪水の復旧・復興支援、非常用発電機の贈呈、チャリティゴルフコンペによる募金活動、防犯シートの提供など同県遊協の社会貢献活動を報告し、奈良女子大の学生が紀伊半島大洪水の被災地の復興活動や商店街活性化活動について発表しました。

討論の中で、相羽理事長が「今後も公的資金が届かない施設、青少年の育成や困っている方への支援を継続して続けていきたい」、奈良新聞社の武智功論説委員が「社会貢献活動は一過性ではなく継続することが大事だと考

えています」と述べ、奈良女子大中山徹教授が「社会貢献を通して、受ける側も成長できるし、貢献している側も色々なものを受け取る」とにより相互に成長できる」と報告し、予定の85分があつという間に経過しました。

フォーラムの詳細内容は12月24日付奈良新聞朝刊に全面で紹介されるとともに、近畿ケーブルネットワークで来年1月に放送されます。

また、平成25年に全日遊連が実施した17億円社会貢献・社会還元活動の調査結果や機構の助成事業成果を初めて展示し多くの方々に見ていただきました。



フォーラム会場ロビーでの展示

平成26年度第3回常任幹事会を開催

11月18日(火)に第3回常任幹事会を開催し、創立10周年記念事業として、来年7月の表彰式・贈呈式において「記念講演会(仮称)」[平成27年度助成団体報告交流会(仮称)]を実施することについての説明をし、了承されました。



第3回 常任幹事会